

推敲あれこれ

小島ゆかり×高野公彦

④



わけですね。

小島 そうなんです。なぜか世間には、「と」は「という」の代りになると勘違いされている人がいますね。

高野 僕もそういう人々に悩まされています(笑)。

◆幽霊動詞は追い払う

信号が青に変はりていつせいに駅へ小走る夕立のなか (原作)

夕立のなかいつせいに小走りす信号がいま青に変はりて (改作)

小島 なかなかいい場面ですが、問題は「小走る」ですね。こんな動詞は存在しません。ありそうですけど、ない。

高野 この世に存在しないから(幽霊動詞)ですね。

小島、そう、幽霊です(笑)。幽霊動詞を使っちゃダメですから、「小走りす」と言い換える必要があります。そのため上句と下句を入れ替えました。

高野 これはうまいですね。お見事です。世の中には「丸呑む」「手作る」「横殴る」「無駄遣う」「苦笑う」など幽霊動詞

◆通俗的な表現はやめる

高野 このページは推敲についてのリレー対談で、今回は小島ゆかりさんに登場していただきました。推敲例を用意して下さったので、それぞれについてお話を伺います。

コロナ禍の町にも若葉かがやけばわれも負けじと歩数を伸ばす (原作)

コロナ禍の町にも若葉かがやけば遠回りして今日は歩かう (改作)

小島 まず「われも負けじと」が少し通俗的かなあと思いますのでそこを直して、ついでに結句を「今日も歩かう」に変えました。

高野 いい歌になりましたね。「歩数を伸ばす」はやや理屈っぽい印象がありますが、「今日も歩かう」は自然な感じですが、僕もこのほうがいいと思います。

玄関で転び骨折したと友明日はわが身か夜の茶を飲む (原作)

玄関で転びたる友骨折す明日わがねど夜の茶を飲む (改作)

小島 「明日はわが身か」もつい出てしまうような表現ですね。それから「骨折したと」を受ける述語がない。この二つを考えて直したのが改作例です。

高野 はい。「骨折したと友」に述語を補うなら「骨折したと言ふ友」とすればいいんですが、それでは字余りになる。そこで「友骨折す」と直接的に表現した

がときどき出現しますから、今後は神や
仏に幽霊が出てこないように祈願しまし
よう(笑)。

忘れず見にゆく家の裏山 (改作1)
タラの芽が日ごと伸びゆくうれしさに
今日も見に来つ家の裏山 (改作2)

見るそよぐ音を聞く (原作)
この夫に出会いし幸を思いつつ樟の若
葉のそよぐ音を聞く (改作)

久に会ふ友と語ればお互ひに惚け自慢
して盛り上がるなり (原作)

この友と会ひて語るは久しぶり惚け自
慢して盛り上がるなり (改作)

小島 下句は面白くて、私この歌好きにな
んですが、初句の「久に」は「久しく

(長いあいだ)」という意味で、「久しぶ
りに」とは違うんです。まぎらわしいの
で、勘違いしちゃう方が多いです。

高野 こう直せば、ちゃんとした歌にな
りますね。もし、例えば五年ぶりに会っ
たのなら、原作を「五年ぶりに友と語れ
ば」と変えればいいんですが、何年ぶり
なのか分からないと勝手に直せないのが
残念ですね。次は私の推敲例です。

◆「ゆく」と「くる」の入れ替え

タラの芽が日ごと伸びゆくうれしさに
忘れず見にゆく家の裏山 (原作)

タラの芽が日ごとに伸びるうれしさに

高野 原作は「ゆく」が二回出てきます
ので、それを一つ消しました。

小島 作者は「ゆく」が二つあるのを気
づかなかったんでしょうね。

高野 だと思えます。それから改作2は、
下の「ゆく」を「来る」という動詞に変
えてみました。

小島 例えば「路地行けばあぢさゐ咲け
り」は、「路地来ればあぢさゐ咲けり」
という言い方も可能ですね。

高野 そうなんです。「路地来ればあぢ
さゐ咲けり」のほうが、紫陽花に近づい
ている印象があつて、味があります。

小島 同感です。もしこれが自分の歌な
ら、「来つ」というのは音感がきついの
で「また見に来たり家の裏山」ぐらいに
したいですね。

高野 なるほど、「来つ」はキツイ(笑)。
確かに「見に来つ」は窮屈な感じがあり
ますね。では次に進みましょう。

添う夫に出会いし幸を胸で告げ樟若葉

高野 原作は説明的でチョコマカした歌
になっていきます。それを直して、少しゆ
つたりした歌にしてみました。

小島 動詞の数が、原作では「添う」
「出会う」「告げる」「見る」「そよぐ」
「聞く」と六つもあったのが、改作では
四つに減りましたね。

高野 ええ。説明的な部分を捨てて、大
事なことだけ表現すると、動詞はしぜん
に減ります。

小島 高野さんは、動詞が嫌いなんです
ねえ。

高野 嫌いじゃないけど、優れた歌は平
均して動詞が少ない。塚本邦雄さんは、
動詞の少ない名歌が多数あります。

小島 ええ、「カフカ忌の無人郵便局灼
けて頼信紙のうすみどりの格子」とか。

高野 できれば、僕は「全国動詞撲滅協
会」を作りたいな(笑)。会長は塚本さ
んで、僕は協会理事。

小島 もしもし、塚本さんはとっくに亡
くなられましたよ(笑)。